

授業概要

歴史をみる筋道と視角、史料の信憑性や性格についての批判的精神を、実際に史料を読むことによって習得する。「インド独立の父」として知られる M.K.ガンディの著作の中から、日本語に翻訳されているものを読み、史料の読み方、解釈の仕方を具体的に学ぶ。ガンディの生きた時代背景、思想から現代世界へのメッセージを、議論し、読み解いていく。

授業計画

第 1 回	はじめに
第 2 回	史料の歴史的背景
第 3 回	序、第 1 章
第 4 回	第 2 章、第 3 章
第 5 回	第 4 章、第 5 章
第 6 回	第 6 章、第 7 章
第 7 回	第 8 章、第 9 章
第 8 回	第10章、第11章
第 9 回	第12章、第13章
第10回	第14章、第15章
第11回	第 16 章、第 17 章
第12回	第 18 章
第13回	第 19 章
第14回	第 20 章
第15回	まとめ
第16回	筆記試験

到達目標

史料の行間を読むことを学ぶ。歴史的背景、著者の思想などを総合的に判断して、史料の内容を分析することを習得する。

履修上の注意

各自が学んだことを発表する機会を設け、発表の方法、レジュメの作成などの指導も行う。毎週、ミニレポートを提出する。

予習・復習

授業計画に従って、必ず史料を読み、要約したうえで授業に参加すること。授業後は、レジュメ、参考文献を読み理解を深めておくこと。

評価方法

授業への参加の態度、授業前に提出する要約レポート、授業での報告が 70%、学期末の筆記試験 30%として総合的に評価する。

テキスト

M.K.Gandhi, "Hind Swaraj" 『ヒンド・スワラージ（真の独立への道）』
当方で用意する。参考文献は適宜紹介する。